

J Rの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

池袋・西武本店で雇用守れのスト

61年ぶり百貨店ストに大きな注目と支持



そごう・西武労働組合は8月31日、西武池袋本店でのストライキを決定しました。「百貨店スト」は1962年5月の阪神百貨店以来で約61年4カ月ぶりです。西武池袋本店はシャッターが閉まり、終日閉店となりました。

「初めてストライキを見た」

「西武池袋本店を守ろう!」「池袋の街に百貨店を残そう!」——そごう・西武労組の組合員約300名人が池袋の駅頭にたって宣伝を行い、デモ行進を行いました。

雇用と地域を守ろうと真剣に訴える姿に、「応援しています」「ストライキを初めて見た」など多くの人たちが支持・共感の声が寄せられました。

地方から駆け付けたという人、「教科書で習った『スト』を見に来た」という高校生、ジュースを差し入れる高校生、ストの張り紙と一緒に写真を撮る人たちなど、多くの注目

と支持の中での闘いでした。百貨店事業の売却は強行されましたが交渉は継続しています。

「百貨店は斜陽産業だから仕方ない」「ストをやっても何も取れないから無意味」「迷惑なだけだ」といった意見もありました。

しかし、決行されたストライキの影響は大きく、テレビや新聞でもトップニュースとして取り上げられました。当初は「無視」を決め込んでいたセブンHDもストライキを背景に「対話」せざるをえなくなりました。

職場に闘う労働組合つくり

アメリカやヨーロッパでは大規模なストライキが次々に闘われ、労組結成も相次いでいます。「米・財務省は、労組の存在が賃金を10〜15%押し上げるとの見通しを示した」(8/30日経新聞)——日本において「賃金が30年も上がらない」と言われる状況を変えるのも、労働組合の存在と闘いです。

JRは「鉄道を持つIT企業になる」などといった鉄道の実業部門やそこで働く労働者をなすがしろにし、業務融合化で「何でも屋」のようになり、攻撃を進めています。この攻撃に対抗する力も、職場からの声と闘う労働組合の中にあります。